

[別紙一 1]概要文

舗装性能を技術評価した総合評価について

南部国道事務所 工務課 品質検査官 山城修

1. 目的

舗装の性能規定は、浸透水量：1000ml/15s 以上、平たん性：2.4mm 以下、塑性変形輪数：3000 回/mm 以上となっている。この値は性能規定で発注している舗装工事では決して厳しい規定ではないと言われている。

南部国道事務所では、舗装の長寿命化など維持管理コストの縮減などを目的に高品質な舗装を提案して頂くこととし「総合評価落札方式標準Ⅱ型において舗装性能を技術提案する試行工事」を実施しているところであるが、今般試行 5 工事の技術提案と総合評価について報告するものである。

浸透水量は舗装の空隙率と関係し、空隙率は騒音値と関係することから低騒音を評価する。また、平たん性は長寿命化と非常に関係が大きいとされていることより、舗装性能を浸透水量と平たん性にした。

2. 内容

(1) 総合評価の実施方法

○総合評価の標準Ⅱ型で実施し、施工計画を「舗装性能の技術提案」に置き換える。
配点は舗装性能を提案する以上総合評価への影響を大きくすることが必要であり
通常 10 点→30 点とする。

○30 点の評価項目の具体

①浸透水量 (15 点) 提案値が $1400 \text{ ml} / 15 \text{ sec}$ 以上を 15 点とし、それ以下は按分する。

②平たん性 (15 点) 提案値 $\delta = 0.8 \text{ mm}$ 以下を 15 点とし、それ以上は按分する。

○試行工事である旨を入札説明書等に明記する。

本工事は、総合評価落札方式標準Ⅱ型の「舗装性能を技術提案する試行工事」である。
尚、舗装性能は「浸透水量」及び「平たん性」について技術提案を評価する試行工事である。

3. 結論

(本土業者と県内業者に分類し平均値で比較)

- ・舗装性能提案では、浸透水量、平たん性共に本土業者が高い提案をしてきた。
 - ・舗装性能以外では、工事成績、優良表彰、舗装施工管理士などいずれも本土業者が高い評価であった。
 - ・しかし、県内に本店、近隣工事実績では県内業者が優位となり加算点合計では、殆ど差が無くむしろ県内業者が優位となる結果であった。
- いずれにしても、沖縄県内の舗装業者が本土業者に劣ることなく競争参加し、工事目的物が良質で長寿命化することが重要と考えている。

4. 今後の問題点

今回の報告は、試行工事の技術提案の結果について報告したものである。今後、各工事の施工後の提案値と施工結果を見て今後の発注のあり方について検討して行く予定である。